

A部クライストロンパルサ1号機インターロック盤リプレース 夏季メンテナンス期間の作業予定

2015年6月1日 東谷千比呂

作業概要

クライストロンパルサ1号機のインターロック盤入れ替え。裏面に写真あり。

作業場所

クライストロン室クライストロン1号機前通路

作業項目

- 1) 古いインターロック盤のケーブル外しと端子チェック。
(必要に応じてケーブルのホコリ払い、端子付け替え、ナンバリング修繕)
- 2) DEQ ラック一時取り外し。
- 3) 新しいラック設置(棚板を一段新設)。
- 4) 上部のメータ2個付け替えと配線新設。
- 5) 新しいインターロック盤の配線(床上にて作業)。付け替え端子数約130本前後。
- 6) 配線チェック
- 7) DEQ ラック戻す。そのほかラック周辺整理。
- 8) 駆動チェック

作業人員

基本的には東谷一人でよいです。

予定日程

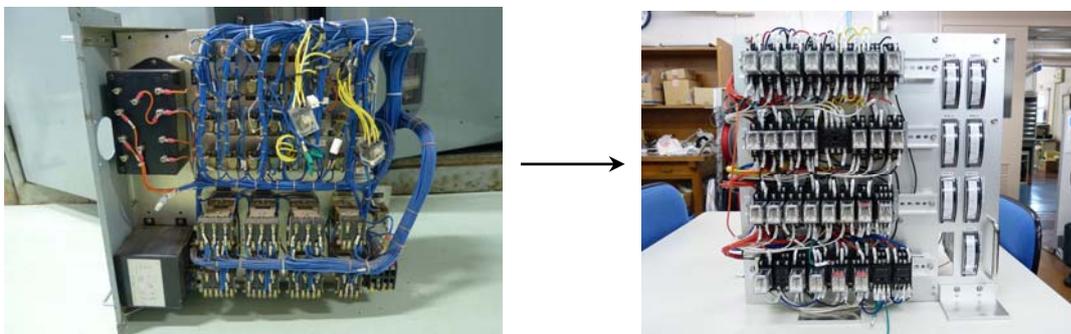
- 1)～4)で1日、5)～7)で2日、予備を含めて約1週間(余裕をみて2週間)。夏期メンテナンス期間中のどこでもよいが、加速器学会後(8月後半～9月)が望ましい。
8)は別途、日程を調整。

準備

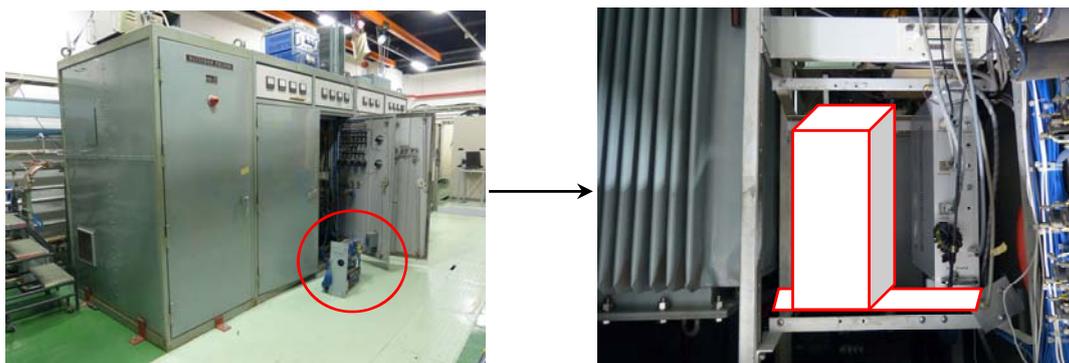
出来上がったインターロック回路は、回路室等で事前に単体のインターロック試験を行います。そちらは別途準備のうえ、関係者に相談します。その試験の際には他の方にもご協力・立ち会いをお願いします。6～7月頃実施予定。

主な作業概要（写真）

インターロック盤の部品を総交換する。基本性能は変えないが、使っていない信号に関連するリレー等はなくす。（詳細は別レポート）



リレー盤をクライストロンパルサのキュービクル内に入れる。
棚板を新設してその上に乗せる。



現状

ラックに入れる

キュービクル上部のメータを2箇所交換する。



EOL CURR

ION PUMP CURR